

2016年2月8日

株式会社 リクルート ホールディングス

若手表現者を応援する第12回写真「1\_WALL」  
グランプリ受賞者個展  
青木陽 展「Inverted Spectrum」開催

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）が運営するギャラリー「ガーディアン・ガーデン (<http://rcc.recruit.co.jp/>)」では、2016年2月9日（火）より2月26日（金）の期間、第12回写真「1\_WALL」グランプリ受賞者の個展となる青木陽 展「Inverted Spectrum」を開催いたします。

第12回写真「1\_WALL」グランプリ受賞者個展 青木陽 展「Inverted Spectrum」

青木陽は、日常の生活の場をテーマに撮影した作品で、第12回写真「1\_WALL」のグランプリを受賞しました。審査では、「ガーリーフォトの流れをくんだ写真を撮ろうとしたが上手くいかず、このような作品になった」とプレゼンテーションしながらも、「90年代の作家たちの流れを取り入れつつ、上手く仕上がった作品」「その上でオリジナルの作品になっており、クオリティが高い」と、審査員から高い評価を得ました。

青木が撮影しているのは、自身が住むアパートの室内や、普段散策している自宅の周辺、偶然出会った風景といった生活の中の一場面です。人の気配が感じられたり生活の痕跡が見えるシーンや、無機質で何も撮っていないようで何かが感じられる一場面を捉えています。一見、私写真のように見えるよう意識的に撮ったものや、ある作家の作品へのオマージュ、演出を加えた人物ポートレートなど、客観的な視線で撮られたものがほとんどで、一枚一枚が異なる要素を含んでいます。

そうした一貫した秩序を持たない写真を並べ、それぞれの写真が持つ意味やストーリーを分断してもなお一枚一枚には人間の記憶や感覚に訴えかける力があり、見る者それぞれにストーリーを想像させる強度のある作品です。

<作家プロフィール>

青木陽 Yoh Aoki

1982年 広島県生まれ

2011年 早稲田大学 第一文学部 総合人文学科哲学専修卒業

<作家コメント>

ときたま歯が痛むという人がいる。その人は虫歯があるのか知覚過敏かその人の歯痛のわけを知り、あるいは同情する。しかしどこまでいってもその痛みはその人のものであり私の痛みにはならない。

電脳化機器の浸透による写真撮影、開示の一般化には著しいものがあり、一過性の画像、現れては消えていく膨大な数の写真に溢れています。またその前提として特に1990年代以降、綿密な構想、文脈や物語性など言語を基調とした理論による裏付けの淡い表現、ごく私的な空間の提示、一瞬の感覚の共有を目指す写真表現の試みが広く受け容れられてきました。

写真はある特定の時間、場所を画像にして定着したものです。撮影された目的に係らず、写真には自然な意味、示されたいつかのどこか、があります。写真は画面の中に限っては対象の知覚以前の視覚的な感覚の共有を仮想的に実現する媒体であり、私たちの写真についての経験は、一方では非常な親密さを感じると同時に、内容の理解の点では非常に曖昧なものに留まるという矛盾を生みます。



開催概要

<展覧会概要>

- 展覧会名 第12回写真「1\_WALL」グランプリ受賞者個展 青木陽 展「Inverted Spectrum」
- 会期 2016年2月9日（火）～2月26日（金） 11:00～19:00 日曜・祝日休館 入場無料
- 会場 ガーディアン・ガーデン  
〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビル地下1階  
TEL 03-5568-8818 <http://rcc.recruit.co.jp/>
- トークイベント 2月18日（木） 19:10～20:40  
出演：菊地敦己（アートディレクター）× 青木陽（入場無料 要予約 TEL：03-5568-8818）

【本件に関するお問い合わせ先】  
<https://www.recruit.jp/support/form/>